



＜決算短信補足資料＞

2020年3月期決算説明資料

Make Innovations Stage-II

2020年5月8日

積水化成品工業株式会社

(東証第1部 証券コード：4228)

2019年度 決算概要

(単位：億円)	2018年度 実績 (A)	2019年度 2月公表計画 (B)	2019年度 実績 (C)	前期対比		計画対比	
				(C)-(A)	増減率	(C)-(B)	増減率
売上高	1,126	1,360	1,362	236	121%	2	100%
(国外売上高) (対売上高比率)	204 18.1%	-	494 36.3%	290	242%	-	-
営業利益 (営業利益率)	48 4.2%	38 2.8%	37 2.7%	△ 11	78%	△ 1	98%
経常利益	48	35	34	△ 14	71%	△ 1	97%
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	23	23	△ 8	74%	1	103%
ROE (%)	4.8	-	3.6	△ 1.2	75%	-	-

前期に買収したProseatグループの2019年1月1日～12月31日までの業績を反映(工業分野)

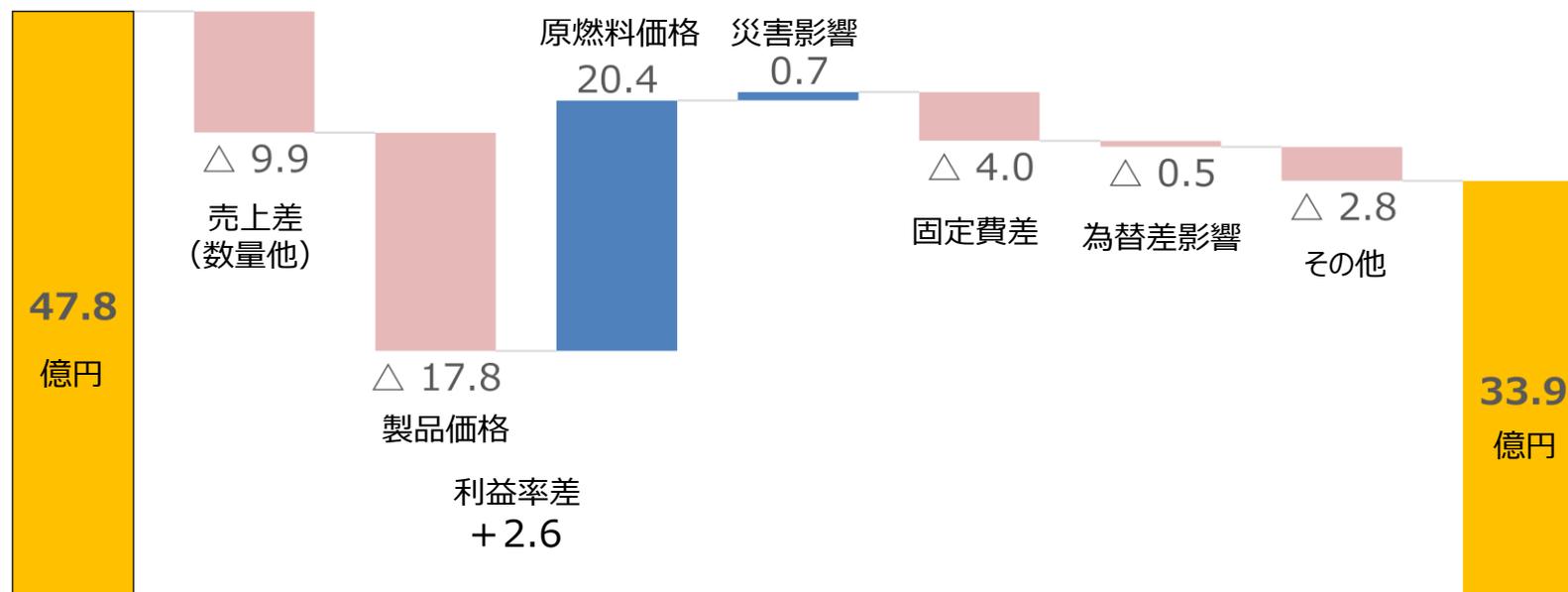
●前年比 増収減益

- ・売上高 工業分野は、欧州Proseatグループ買収により増加
生活分野は、食品トレー向けは堅調も不採算事業の見直しなどにより減少
- ・利益面 工業分野は、欧州自動車向けや液晶パネル用途の不振により減少
生活分野は、カップめん容器向けなどの低迷により減少

2019年度 利益増減要因 (前年比)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

【単位：億円】



2018年度
実績
(通期)

経常利益差 (通期) △ 13.9 億円

2019年度
実績
(通期)

(単位：億円)	2018年度 実績 (A)	2019年度 実績 (C)	前期対比	
			(C)-(A)	増減率
売上高	477	781	303	164%
営業利益 (営業利益率)	26 5.4%	14 1.8%	△ 12	54%
経常利益	25	12	△ 14	47%

● Proseatグループ買収で売上伸長も、利益は減益

・家電・IT分野

「ピオセラン」等を用いた液晶パネルなど搬送資材用途は、上期好調も下期伸びを欠く
「テクポリマー」は、液晶パネルなど光拡散用途の在庫調整が長期化、前年同期を下回る

・自動車分野

「ピオセラン」等を用いた部材用途は、グローバルに採用部位を拡大
Proseat事業は、シナジー見せ始めるも、欧州自動車の販売不振で連結利益マイナス影響
部品梱包材用途は、グローバルの自動車市場の低迷により伸び悩み

・医療健康分野

「エラストイル」は、シューズ用途において新規モデルへの採用増で売上を伸長
「テクノゲル」は、中国から米国への最終商品が貿易摩擦などの影響を受け低調に推移

(単位：億円)	2018年度 実績 (A)	2019年度 実績 (C)	前期対比	
			(C)-(A)	増減率
売上高	649	581	△ 68	90%
営業利益 (営業利益率)	35 5.3%	34 5.8%	△ 1	97%
経常利益	35	33	△ 2	95%

● 低採算商品の見直し強化により売上減。利益減も営業利益率は改善

- 食品容器分野
年末需要の盛り上がりには欠いたものの、食品トレー向けは総じて堅調
カップめん容器向けなどの需要低迷や価格改定により、売上は前年を下回る
- 農水産分野
農産分野は順調に推移するも、水産分野は漁獲量の低迷により前年を下回る
- 建材・土木分野
盛土材用途や首都圏インフラ整備は堅調も、全体としては前年を下回る
- 「エスレンシート」「エスレンビーズ」売上は下回るも数量は前年並み

(単位：億円)	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	前期 対比
設備投資額	58	78	74	53	△ 21
減価償却費	36	41	45	61	16

● 2020年3月期完工設備

主な完工設備

- 高圧成形機増設
- 開発用発泡シート成形設備
- 物流倉庫自動化システム
- 情報システムインフラ整備
- 生産設備更新

(単位：億円)	2018年度 実績	2019年度 実績	前期 対比
総資産	1,535	1,491	△ 44
純資産	670	672	+ 3
自己資本比率	42.5%	44.1%	1.6%
1株あたり純資産	1,439円43銭	1,450円32銭	+ 10円89銭
(参考) 自己資本	652	657	+ 5
現金及び預金	113	95	△ 17
短期借入金	177	65	△ 112
長期借入金	175	222	+ 47
社債		70	+ 70
有利子負債	352	357	+ 4
D/Eレシオ (倍)	0.54	0.54	0.00

Proseat M&A資金につき、短期ブリッジローンから社債・長期借入へのシフトなどを実行。有利子負債の総額についてはほぼ横ばいで、財政状況に大きな変化なし。

2019年度 配当について

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	(予定) 2019年度
1株あたり当期純利益(円)	26.96	54.14	67.34	73.03	75.33	69.09	51.29
1株あたり配当(円)	14	18	24	24	27	30	30 (期末予定17円)
配当性向(連結)	52%	33%	36%	33%	36%	43%	59%
自己株式取得(百万円)	138.5	—	—	718.5	621.2	—	—
総還元性向(連結)	63%	33%	36%	54%	54%	43%	59%
ROE	2.5%	4.6%	5.4%	5.7%	5.5%	4.8%	3.6%
自己株式消却(万株)	—	—	—	100	—	—	—

注) 2016年10月に2株を1株に株式併合、数値は併合後の換算値



★内容に関するお問合せは…

I R広報部 Tel : (03) 3347-9711

E-mail: m01271@sekisuiplastics.co.jp

★当社のホームページもあわせてご覧ください。

アドレスは <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。